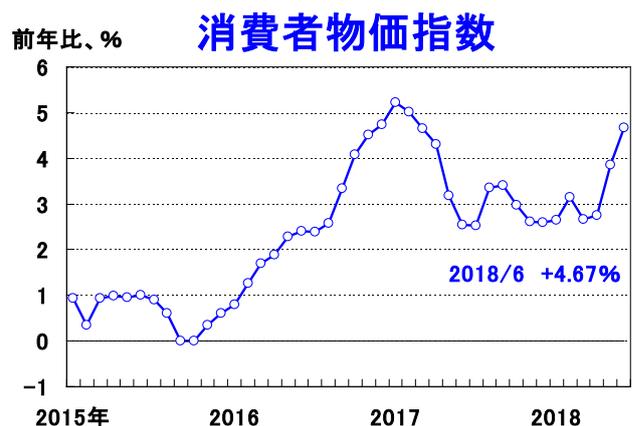
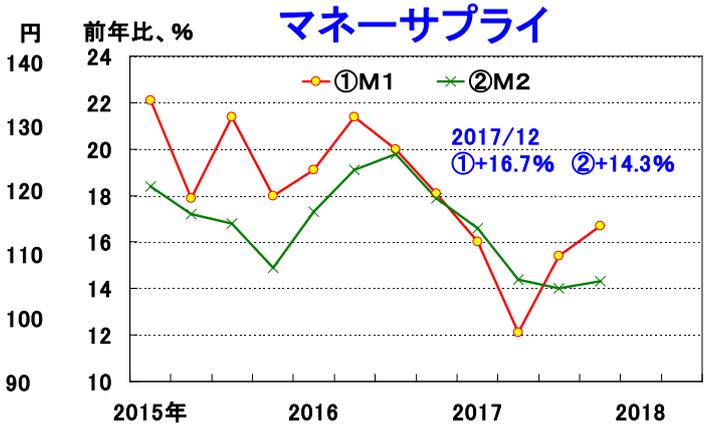
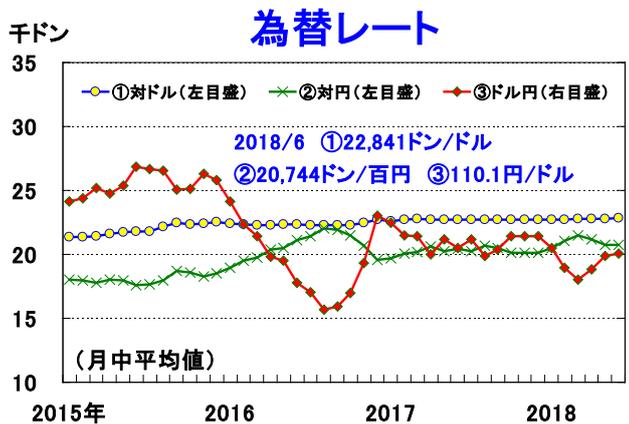
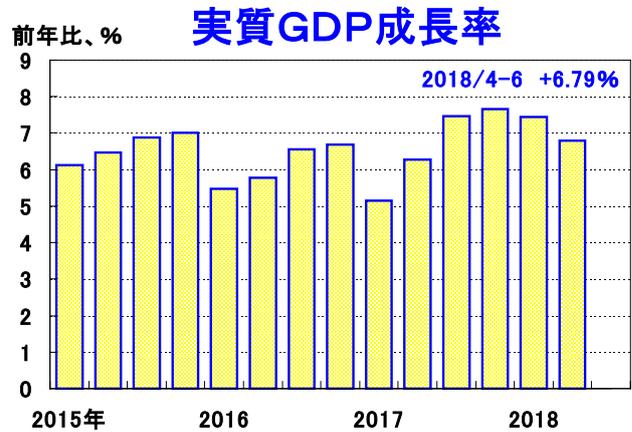
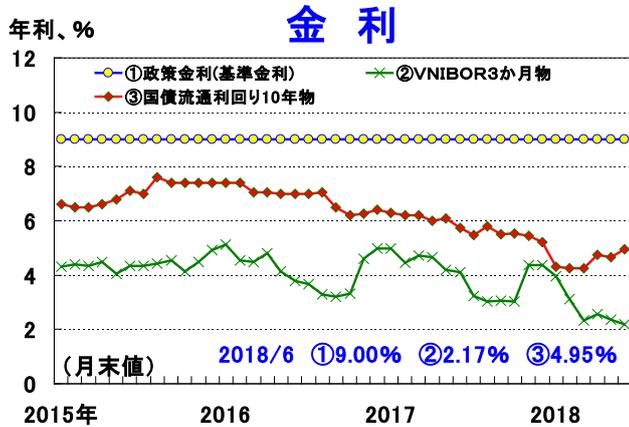


グラフで見るベトナム経済 2018年7月号(No. 102)

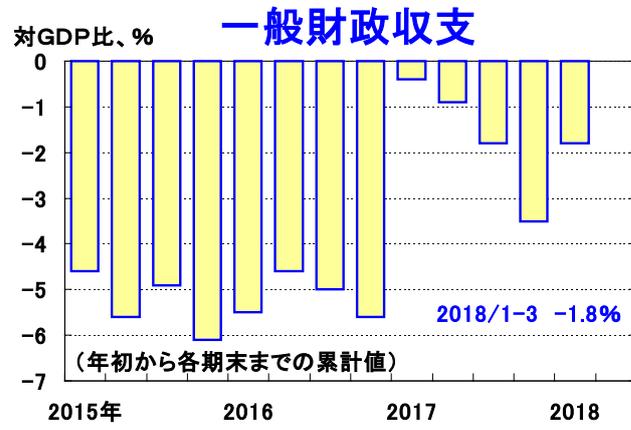
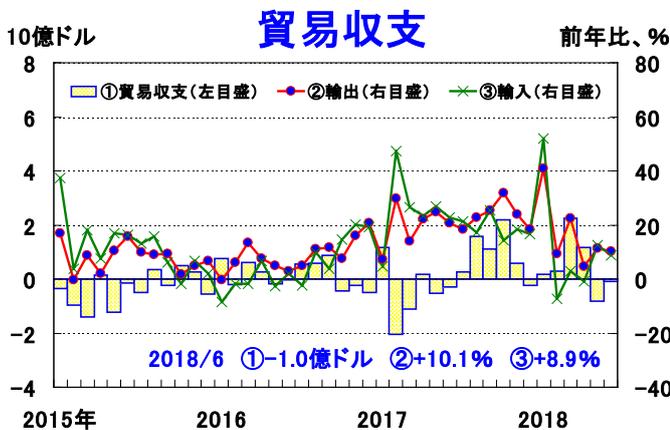
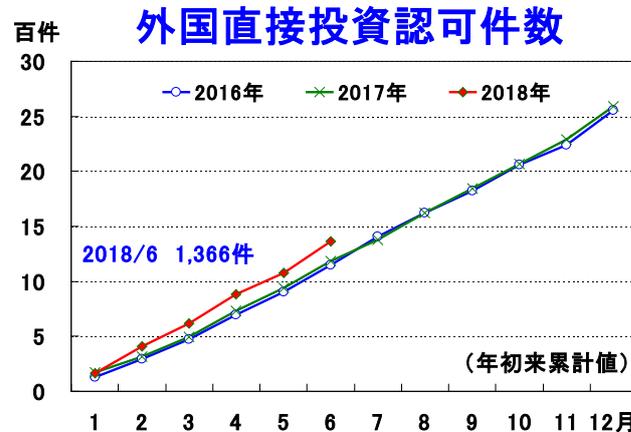
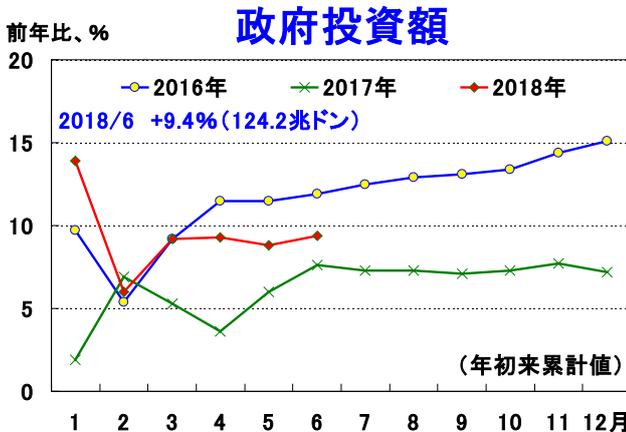
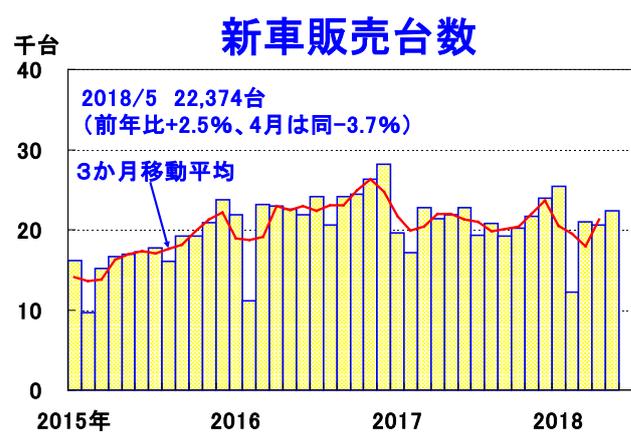
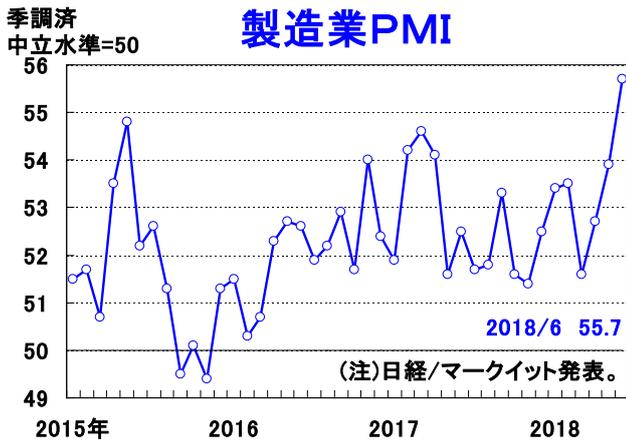
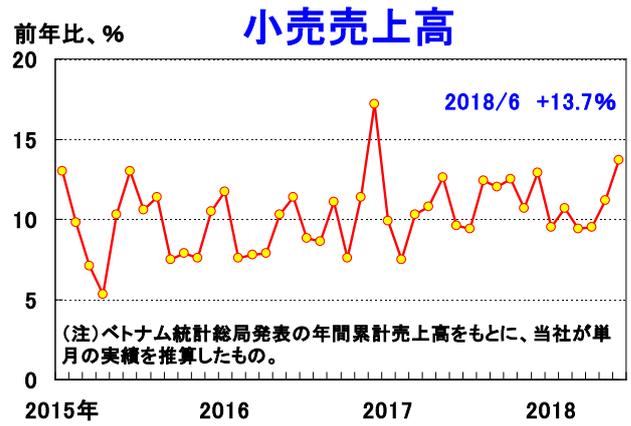
2018年4～6月期の実質GDP(国内総生産)成長率(推定値)は前年比+6.79%と、2018年1～3月期(同+7.45%)に比べて減速したものの、第2四半期としては11年ぶりの高い伸びを記録した。月次指標をみると、6月の鉱工業生産は前年比+12.3%と前月の伸び(同+7.1%)を上回り、同月の製造業PMI(中立水準は50)も55.7と、3か月連続で上向いて2011年3月以来の高水準となった。家計部門に関しては、5月の新車販売台数は前年比+2.5%と4か月ぶりに増加し、6月の小売売上高も同+13.7%と3か月連続で加速している。



【今月のトピック: 好調な繊維・アパレル製品輸出、今後はCPTPPが後押し】 2018年1～5月累計のベトナムの繊維・アパレル製品の輸出額は、前年比16.2%増と、高い伸びを記録した。ベトナムの繊維・アパレル業界では、CPTPP(包括的及び先進的な環太平洋パートナーシップ協定、Comprehensive and Progressive Agreement for Trans-Pacific Partnership)が、今後の輸出を後押しすると予想している。ベトナム繊維協会によると、2019年の早い時期に発効が予定されているCPTPPにより、繊維・アパレル輸出は年間、3～6%増加することが見込まれている。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。